

18  
1-2

# 横濱新報

18  
1

Yuzji  
Kanda

もしほ草

93

Vanreed

第壹帙



りほ草第一帙

慶應四年戊辰閏四月十一日



曩なほふヒコサウの新聞誌ありがかの人此地このちを去りさのちの久  
 其その妻つま絶たつりし去年正月我友人わがともベリイ萬國新聞ばんこくしんぶん帙しを  
 板いた行いせしこれこれも第十篇じゅうしほん迄出板いしとやめ余よ深くふかこのこのこのこを  
 ながれておのれおのれれく新聞紙しんぶんののををるるが有益うそくののめめて今いまのの世界中せかいぢゆう  
 文明ぶんめいの國くにありこのこのありたるありるるに國くにのあり然しか然しか小日本こにっぽんももいいままこのこの妻  
 さうんさんの行いりままささるるゆゆゑゑんんの蓋けし新聞紙しんぶんの世よ益えきある事ことを志しす  
 ののままくくるるとこれこれを篇集へんしゅうする人のひとののこころろををるる學者がくしやぶぶつつてむむじじき  
 支那しな文字ぶんじままどどののままなな文ぶんを用もちゆる事ことと且かつのの出板しゅつばんののおおそそく  
 なりなりく時ときあるあるまま乃なぬぬづづくくららぬ評ひやうををるるままののせせるることことふふよよる



横浜新報もしほ草 18-8

早稲田大学図書館蔵 / Waseda University Library

